



日建連の  
社会貢献活動

平成24年3月

社団法人日本建設業連合会

# 総目次

I. 日建連の社会貢献活動	1
(1) 災害等緊急支援	
(2) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動	
(3) 社会福祉活動	
II. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	6
(1) 災害等緊急支援寄付	
(2) 寄付活動	
III. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	24
IV. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	116



## 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

### 【あ行】

あ	株式会社浅川組	……	116
	株式会社新井組	……	117
	荒井建設株式会社	……	118
い	石黒建設株式会社	……	119
う	株式会社植木組	……	120
お	大林道路株式会社	……	121
	オリエンタル白石株式会社	…	122

### 【か行】

か	鹿島道路株式会社	……	123
き	共立建設株式会社	……	124
け	京王建設株式会社	……	125
	京急建設株式会社	……	126
こ	公成建設株式会社	……	127
	広成建設株式会社	……	128
	株式会社交通建設	……	129
	コーナン建設株式会社	……	130

### 【さ行】

さ	札建工業株式会社	……	131
	三軌建設株式会社	……	132
	三幸建設工業株式会社	……	133
し	株式会社島田組	……	134
	新谷建設株式会社	……	135
せ	西濃建設株式会社	……	136
	仙建工業株式会社	……	137

### 【た行】

た	大成ロテック株式会社	……	138
	株式会社田中組	……	139
と	東亜道路工業株式会社	……	140

### 【な行】

な	株式会社中山組	……	141
	南海辰村建設株式会社	……	142
に	日特建設株式会社	……	143

### 【は行】

ふ	株式会社藤木工務店	……	144
	株式会社富士工	……	145

### 【ま行】

ま	前田道路株式会社	……	146
	松尾建設株式会社	……	147
	丸彦渡辺建設株式会社	……	148
	株式会社丸山工務所	……	149
み	宮坂建設工業株式会社	……	150
も	株式会社森組	……	151
	株式会社森本組	……	152

### 【や行】

や	矢作建設工業株式会社	……	153
ゆ	ユニオン建設株式会社	……	154
よ	株式会社吉田組	……	155
	寄神建設株式会社	……	156

以上 41 社

# I. 日建連の社会貢献活動

## (1) 災害等緊急支援

### 東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分に、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生。この地震により宮城県北部で最大震度7をはじめ、広い範囲で強い揺れを観測。

また、太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では壊滅的な被害をもたらす。

この地震と津波による人的被害は死者1万5,854人、行方不明者3,155人、負傷者2万6,992人、建物被害は全壊12万9,248戸、半壊25万4,297戸、床上・床下浸水3万5,930戸におよぶ。(平成24年3月14日警察庁発表)

当会では、緊急災害対策本部を立ち上げ、本部と東北支部が連絡を取りながら、以下の活動に精力的に取り組んだ。

### 1. 復旧支援活動

東日本大震災の発生直後から、国土交通省など関係機関より支援要請が出された。当会では、全国ゼネコンの持つ組織力を生かして応急対応や復旧支援に取り組んだ。

被災地では、仮設トイレやブルーシート、土のう袋、燃料、発電機など建設関係の資機材に加え、食料や水など日用品が不足していた。このため、建設資機材だけでなく、生活物資も含めて提供。搬送した品目数は130を超えた。

阪神・淡路大震災など過去の災害と比べて、要請された物資の量も非常に多かった。生活物資が不足する中、調達に苦労する場面もあったが、会員企業ごとに分担を決め、全国ゼネコンが持つロジスティクス機能を活用しながら、現地に送り届けた。

## 日建連会員企業が提供した主な資機材や生活物資

平成23年4月11日現在

項目	数量	納品場所
仮設トイレ	574 基	山田町、大船渡市、気仙沼市、野田村、大槌町、宮古市、南三陸町
仮設ハウス	279 棟	陸前高田市、石巻市、大槌町、相馬市、釜石市、南三陸町
大型テント	6 張	南三陸町、大槌町、釜石市
テント	517 張	石巻市、釜石市
ブルーシート	15,000 枚	東松島市、石巻市
散水車	5 台	大槌町、気仙沼市
給水車	1 台	田野畑村
0.7m <sup>3</sup> バックホウ(ハサミ)	6 台	気仙沼市
燃料運送(ローリー)	6 台	陸前高田市、気仙沼市、多賀城市、石巻市
軽油・灯油運送	15,000 L	宮古市、鳴子ダム、七ヶ瀬ダム、北上川下流事務所
大型土嚢袋輸送	3,500 袋	宮城県、山田町
土嚢袋	19,800 袋	東松島市、山元町
発電機	77 機	陸前高田市、南三陸町、大槌町、気仙沼市
水中ポンプ	5 台	山田町、南三陸町
発電機、水中ポンプ、サニ－ホース	2 セット	山元町
木杭	1,100 本	大槌町、山元町
カラーコーン・バー	300 本	南三陸町、山元町
角・剣スコップ	600 本	東松島市
一輪車	300 台	東松島市、久慈市
拡声器	44 器	陸前高田市、東松島市
洗濯機	30 台	野田村、女川町
自転車	12 台	南三陸町
簡易トイレ	3,200 個	石巻市、南三陸町
ふとん	300 式	南三陸町
食料・生活用品(一式)	17 台(トラック)	南三陸町、相馬市、石巻市
オムツ	500 箱	南三陸町
生理用品	1 式	南三陸町
カンパン	3,300 食	東松島市、石巻市、南三陸町
茶	16,000 本	東松島市、石巻市、南三陸町
水	15,300 本	東松島市、石巻市、南三陸町、相馬市
雨合羽	557 着	東松島市
防水シート	2,000 m <sup>2</sup>	大槌町
油吸着マット	50 箱	山田町
トラロープ(100m巻)	13 巻	山元町
竹ぼうき	75 本	大槌町
ワイヤー・シャックル	20 本	大槌町
消石灰	100 袋	山田町
ゴム手、雨合羽、長ぐつ	10 人分	女川町
給油ポンプ	5 本	山田町
カセットコンロ	500 台	久慈市
カセットポンペ	1,500 本	久慈市
洗剤	20 箱	野田町、女川町
断熱材・カーベット	1 式	大槌町
物干し台、竿	50 セット	女川町
チェーンソー	30 台	陸前高田市

仮設トイレや仮設ハウスをはじめ日建連が手配した物資は131品目に上る。要請を受けて配送した市町村は、11市6町2村。

## 2. 義援金の拠出(平成23年4月25日拠出)

寄付先：日本赤十字社

義援金：6億5,000万円(日建連取りまとめ分)

内訳 6億4,688万円(会員112社)

312万円(日建連)

※会員全体としては、別途、日本赤十字社等に拠出した2億3,702万円(会員37社)を合わせると約8億9,000万円となる。



義援金目録贈呈式

## (2) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動

### 1. 東京都指定名勝「旧安田楠雄邸」庭園清掃

落ち葉掃き、ゼニゴケ・雑草除去 等

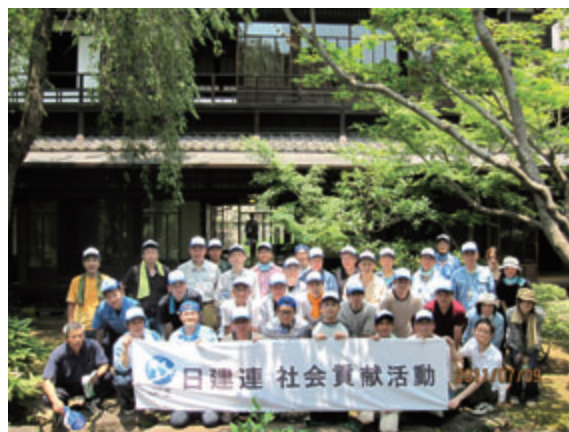
<旧安田邸とは> (東京都文京区千駄木 5-20-18)

旧安田楠雄邸は、実業家藤田好三郎氏により、大正8年に建てられた近代和風建築で、その後、安田財閥の一族が購入し、以来約70年間にわたり安田家の方々が大切に住まい続けてきた邸宅です。

現在は安田家より寄贈を受けた財団法人日本ナショナルトラストが、自然・文化遺産を次世代に継承する事業の一環として所有し、保護資産の一つとして維持管理しています。平成10年には東京都の名勝に指定され、平成19年から一般公開を始めました。

平成23年7月9日(土) 10:30~12:00

参加人数 38名 (14社・35名、事務局3名)



平成23年12月10日(土) 10:30~12:00

参加人数 39名 (15社・35名、事務局4名)



## 2. 「旧モーガン邸」庭園清掃

庭園内の伐採済み枝の切断・片付け、草刈り

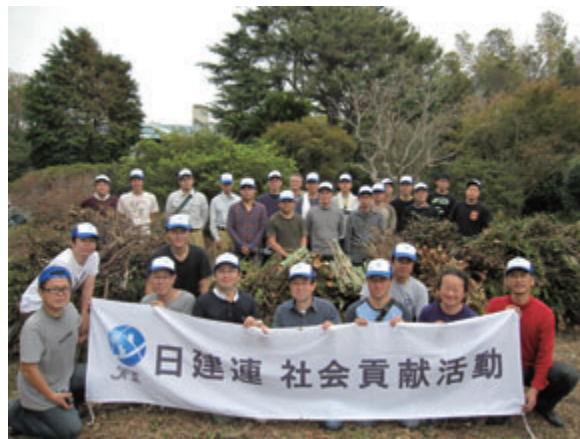
＜旧モーガン邸とは＞（神奈川県藤沢市大鋸 1122）

旧モーガン邸は、昭和6年に建てられた建築家 J. H. モーガンの旧邸です。モーガン亡き後、何人かの手に渡りましたが、平成17年に藤沢市と財団法人日本ナショナルトラストが取得、復原改修後に一般公開されることになっていました。ところが、主屋部分が平成19年、20年と二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けてしまいました。

現在は、毎月8日の一般公開をはじめ、季節ごとのイベント、草刈りボランティア活動など、修復再生に向けた活動を行っています。

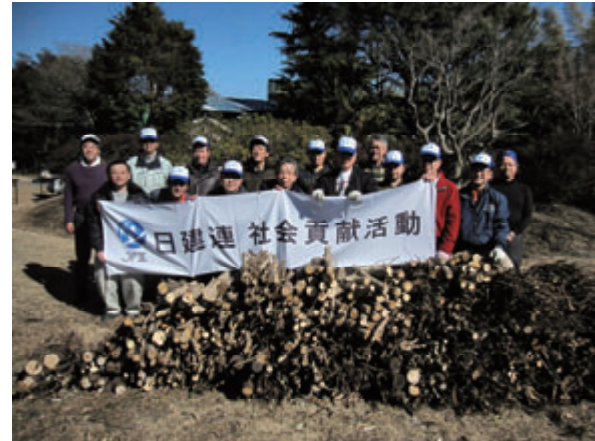
平成23年11月5日(土) 10:30～12:00

参加人数 29名（10社・26名、事務局3名）



平成24年2月4日(土) 10:30～12:00

参加人数 17名（6社・14名、事務局3名）





### (3) 社会福祉活動

#### エコキャップ運動

「NPO法人エコキャップ推進協会」が実施している、「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける」活動の趣旨に賛同し、日建連会員会社等に広くご紹介。

キャップを分別回収し、再資源化の促進によりCO<sub>2</sub>発生抑制に寄与できるとともに、世界の子どもたちにワクチンを届けるという、地道でささやかな活動ですが、部課単位、作業所単位、また個人々の有志でもできる社会貢献活動のひとつと考えています。

現在、複数の会員会社で、作業所単位、部門単位等で活動が行われています。



**地球に愛を 子どもに愛を**  
**ペットボトルのキャップを集めて**  
**世界の子どもたちにワクチンを届けよう!**

ゴミとして焼却処分されると  
 キャップ400個で3,150g  
 のCO<sub>2</sub>が発生します。

ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう。

**あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります!**  
**小さなキャップでも、分ければ資源!**  
 リサイクルして価値ある材料に。  
**ペットボトルのキャップをみんなで集めよう!**  
 キャップは400個で10円になります。  
**ポリオワクチンは1人分20円!**  
 キャップ800個で一人の子どもの命が救えます。

キャップ回収 → リサイクル工場へ → 資源をワクチン製造工場へ提供 → NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会 (JCV) → 世界の子どもにワクチンが届きます。

NPO法人(内閣府認証) エコキャップ推進協会 **ECOCAP**

TEL: 03-5427-2224 FAX: 03-5427-2225  
 http://ecocap007.com

協力: 日本労働組合総連合会、(社)日本経済団体連合会  
 (財)日本青年会議所、労働者組合の全国協議会

**私たちはエコキャップ運動を推進していきます**

ペットボトルのキャップをコアとした「NPO法人エコキャップ推進協会」の活動は、21世紀のあらゆる活動のキーワードとなります。環境、資源、福祉といったテーマに、子ども、シニアの人達を含めた市民レベルでチャレンジして行く極めて社会的意義の深い取り組みであります。

日常生活のなかで無意識に利用されているペットボトルのキャップを、一般のゴミに混ぜてしまいますと、焼却処分される(約)の発生源に等なり、また埋め立て処分されると土壌を汚染し私達が住む地球環境を破壊する事になります。

今日、地球環境の悪化が懸念されているなかで、キャップを分別回収し再資源化を促進することにより、CO<sub>2</sub>の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子どもたちにワクチンを届け、命を救うことが出来ることしたら、それは何事でも無いと思っております。

私たちは、「ペットボトルのキャップを集めて」地球環境を改善し世界の子どもたちにワクチンを届ける、こうした二つのテーマをシンボルフレーズとして活動を展開し、地域活性化などにも寄与して行きたいと志願しています。

NPO法人エコキャップ推進協会  
 理事長 佐藤 清

**ペットボトルのキャップも外してリサイクル!**

キャップ (PP=ポリプロピレン)  
 ↓  
 キャップ回収  
 ↓  
 再資源化業者への売却  
 ↓  
 NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会 (JCV) へ売却  
 ↓  
 売却益上場へ

**ワクチンの価値** (1人分あたり)

1. ポリオ (10回分)	20円
2. B型肝炎	50円
3. BCG (3回)	7円
4. 麻疹 (1回)	114円

※1人分あたり1000個のキャップで1人分、多くても1000個ですが、例えば400個 (約3,000個) に足りません。045-258-0294 にお電話ください。

※回収は自治体と提携を結びながら、キャップを集めて回収します。なお、ポリオワクチンが個人向け接種用(1回)の薬品はついていません。

※当協会はペットボトルのキャップを対象としています。材質はPP (ポリプロピレン) です。キャップやリースなど資源価値にも差があります。これらを集める場合は自治体が行っている資源回収をする必要がありますので、処分の際はご分別ください。なお、大きさも制限ありません。なお、紙のシール (貼紙) や金属の蓋は必ず取り除いてください。

NPO法人(内閣府認証) エコキャップ推進協会 **ECOCAP**

http://ecocap007.com/

## Ⅱ. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請議案の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の正会員である、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

平成24年3月現在 会員45社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	(株) 浅 沼 組
安藤建設(株)	伊藤組土建(株)	岩田地崎建設(株)
(株) 大林組	(株) 大本組	(株) 奥村組
鹿島建設(株)	株木建設(株)	北野建設(株)
(株) 熊谷組	(株) 鴻池組	五洋建設(株)
清水建設(株)	西武建設(株)	(株) 銭高組
大成建設(株)	大日本土木(株)	大豊建設(株)
(株)竹中工務店	(株)竹中土木	鉄建建設(株)
東亜建設工業(株)	東急建設(株)	東洋建設(株)
戸田建設(株)	飛島建設(株)	(株)ナカノフドー建設
西松建設(株)	(株) N I P P O	日本国土開発(株)
(株) 間 組	(株)長谷工コーポレーション	(株)ピーエス三菱
(株) 福 田 組	(株) フ ジ タ	(株)不動テトラ
(株) 本 間 組	前田建設工業(株)	松井建設(株)
(株) 松 村 組	三井住友建設(株)	若築建設(株)

平成24年4月新入会予定6社

(株) 植 木 組	鹿島道路(株)	三幸建設工業(株)
大成ロテック(株)	日本道路(株)	寄神建設(株)

## (1) 災害等緊急支援寄付

### 1. トルコ東部地震被災者支援(平成 23 年 11 月 11 日)

寄付先：ジャパン・プラットフォーム／義援金：100 万円

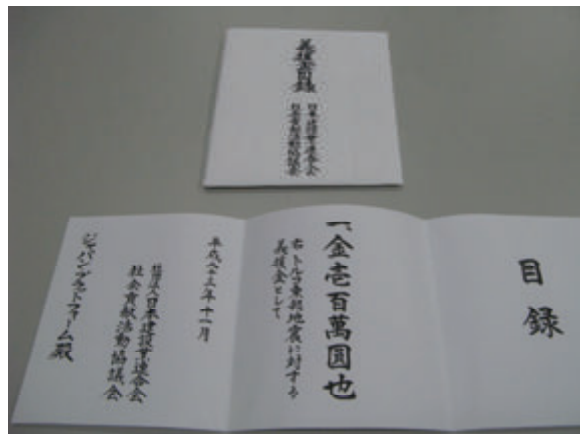
現地時間 10 月 23 日午後 1 時 40 分頃（日本時間夜 7 時 40 分）、トルコ東部において、マグニチュード 7.2 の大地震が発生し、震源地域を中心に大きな被害をもたらす。

#### 【特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム】

NGO、経済界、政府が協力・連携して、難民発生時や自然災害時の緊急援助をより効率的かつ迅速に行うための枠組みとして平成 12 年 8 月に発足しました。



贈呈式



支援金目録

## (2) 寄付活動(平成22年度)

	寄 付 先	件 名
1	(社)東京青年会議所 わんぱく相撲全国大会実行委員会	第26回わんぱく相撲全国大会費
2	(財)日本シルバーボランティアズ	事業費募金
3	防衛懇話会	事業費募金
4	日本赤十字社	事業費募金
5	(社会福祉法人)いのちの電話	事業費募金
6	(財)日本交響楽振興財団	事業費募金
7	地球環境国際議員連盟(Globe International)	COP10議員会合費募金
8	(社)建設広報協議会	協賛金
9	日本聾話学校後援会	支援金募金
10	(社)日本交通福祉協会	事業費募金
11	(財)警察協会	事業費募金
12	(社)全国交通安全母の会連合会	事業費募金
13	(財)日本農林漁業振興会	第48回農林水産祭費用
14	(財)がんの子供を守る会	事業費募金
15	(社)平城遷都1300年記念事業協会	記念事業費募金
16	(財)伊勢神宮式年遷宮奉賛会	第62回伊勢神宮式年遷宮資金募金
17	(財)スポーツ振興資金財団	事業費募金
18	(財)経済広報センター	2010年度通常会費
19	(財)世界平和研究所	事業費募金
20	(財)東京都ユース・ホステル協会	緑の募金
21	(財)日本極地研究振興会	事業費募金
22	日本車椅子バスケットボール連盟	第40回日本車椅子バスケットボール 選手権大会費募金
23	(財)全国教誨師連盟	事業費募金
24	(職業訓練法人)全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター 平成22年度賛助会費
	合計(24件)	

※団体名は寄付当時のまま

## No.2 財団法人日本シルバーボランティアズ

\*事業費募金(昭和55年度～毎年)

定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力を行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

### 【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣(毎年90名前後)
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



ベトナム／さくら日本語学校



中国／梨木の剪定

## No.4 日本赤十字社

\*事業費募金(平成19年度～毎年)

日本赤十字社は創立以来、世界186カ国の国際赤十字の一員として今日まで130年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきた。

今般、今後発生が予想される東海、東南海、首都直下地震などの広域災害に対し、迅速かつ的確な救護活動が展開できるよう緊急対応仮設診療所などの災害救護設備の拡充を図る。

### 【主な事業】

1. 災害救護設備の整備
2. 災害救護物資の備蓄
3. 採血受入機関の整備
4. 救急医療体制の整備

写真提供／日本赤十字社



【東日本大震災での活動】  
救援物資(緊急セット)を被災者の元へ  
(C)日本赤十字社



【東日本大震災での活動】  
被災地へ送られた救援物資の毛布  
(C)日本赤十字社

## No.5 社会福祉法人いのちの電話

\*事業費募金(昭和55年度～毎年)

困難や危機にあつて、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動。1953年に英国のロンドンで始まった自殺予防のための電話相談に端を発し、1971年に「東京いのちの電話」が設立され、日本で初めての電話相談事業が開始。

現在、約330名のボランティア相談員が、365日無休の電話相談、インターネット相談を行っている。また、ボランティア医師による電話医療相談も受けている。

この活動を担う相談員を毎年一回公募。相談員は1年半の養成研修を経て認定された後も月1回の継続研修を受けながら相談活動を続けている。2011年は28,377件の電話相談を受け、2,675件のメール相談を返信した。

写真提供／いのちの電話



インターネット相談



研修風景

## No.6 財団法人日本交響楽振興財団（現在は公益財団法人）

\*事業費募金(昭和48年度～毎年)

交響楽の振興と普及を図るため、交響楽団等の演奏活動を助成するとともに、すぐれた交響楽を提供する活動を行っている。

### ◇「巡回公演」について◇

「巡回公演」は、交響楽団の育成・強化と交響楽の全国的な普及を目的に、青少年を中心とした多くの人々に、低料金で交響楽を提供。年間15か所ほど訪問しており、公演先では公演前の時間を利用して、地元の児童・生徒を対象に、指揮者や楽団員といったプロの演奏家が講師となり、楽器クリニックや音楽鑑賞教室を実施。

### ◇「小学校における通年音楽教育プログラム」について◇

現在、小学校の教育現場では音楽の授業時間が減る一方、子どもたちが「本物の生の音楽」に直に触れる機会は限られている。そこで、子どもの感性を豊かに育むべく、小学校の授業の一環として音楽のワークショップやミニ・コンサートを実施。今年も姫路市の小学校2校を選び、関西フィルの楽団員や指揮者が小学校に出向いて、実演や指導を行った。本プログラムの総仕上げはホール・コンサートで、ワークショップを受けた子どもたちだけでなく、オーケストラの演奏を聴く機会が少ない地元の皆さんにも大変喜ばれている。

このほか、アマチュアオーケストラの活動支援など、全国各地で、音楽を楽しむアマチュア演奏家の活動を支援。

### ◇最近の活動について◇

東日本大震災で大きな被害を受けた地域の復興支援活動を行っている。復興支援コンサートを、宮城県石巻西高校と福島県会津若松市の大熊中学校で実施。大熊中の生徒たちは、双葉町から会津若松市に学校ごと移り、避難生活を続けている。また、本年度の巡回公演では、来場者や関係者にご協力をいただき、被災地の子どもたちに楽器を贈るため、募金活動を実施し、送金した。

これからも、事業内容を充実させ、公益性の高い事業活動を行っていく。

写真提供／日本交響楽振興財団



青少年を中心とした幅広い年齢層を対象に開催している巡回公演事業(舞鶴公演)



小学校における通年音楽教育プログラムで行っているワークショップの様子(兵庫県姫路市内小学校)



## No.9 日本聾話学校後援会

\*支援金募金(昭和50年度～毎年)

本校は、故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の私立聾話学校で、我が国最初の口話教育校として聴覚障害児に乳幼児からの早期教育と訓練等を行っている。この教育を支援するための後援会組織。

(所在地：東京都町田市野津田町)

写真提供／日本聾話学校後援会



オーディオロジー部による毎朝の補聴器チェックの様子



乳幼児部の親子グループ活動の様子

## No.10 社団法人日本交通福祉協会(現在は公益社団法人)

\*事業費募金(平成元年～毎年)

「自動車等による交通事故の絶滅」と「交通事故による被害者の救済」を図ることを目的として設立し、救命救急法の普及啓発や交通安全活動を推進。

### 【主な事業】

1. 救命救急法教育講習会等開催事業
2. 小・中学生及び高齢者等に対する交通安全教育の普及
3. 交通安全・交通災害救急に関する総合的な調査研究及び知識の普及

写真提供／日本交通福祉協会



交通事故救命救急法教育講習会を全国展開。この講習会では、開催地の大学病院の救急専門の医師による講義。



各種イベントに積極的に出向き救命救急法普及啓発を推進。交通安全のイベント。ステージで心肺蘇生法とAEDの使用法を説明している協会職員。

## No.13 財団法人日本農林漁業振興会

\*農林水産祭費用(昭和52年度～毎年)

本振興会は、農林水産業者の技術の改善と経営改善の意欲の高揚を図るとともに、農林水産祭等を通して農林水産業への国民の認識を深める。

### 【主な行事】

1. 表彰式典(11月23日、於 明治神宮会館)
2. 優秀農林水産業者に係るシンポジウム
3. 実りのフェスティバル(11月4～5日、於 東京ビッグサイト)

写真提供／日本農林漁業振興会



実りのフェスティバル天皇杯コーナーをご視察される秋篠宮同妃両殿下



農林水産祭式典の天皇杯受賞者

## No.14 財団法人がんと子供を守る会

\*事業費募金(昭和52年度～毎年)

本会は、がんで子供を亡くした親達を中心となり設立された。小児がんに関する調査、研究及びその奨励、助成等の諸事業を行う。

### 【主な事業】

1. 研究助成事業(研究セミナー等助成、調査研究助成)
2. 療養助成事業
3. 相談事業(小児がん相談事業、講演会・交流会の開催)
4. ゴールドリボン推進活動(小児がん経験者自立支援助成)
5. ボランティアコーディネート・ボランティア研修
6. 総合支援施設の運営事業
7. 広報・募金活動 等

写真提供／がんと子供を守る会



相談事業



広報事業

## No.16 財団法人伊勢神宮式年遷宮奉賛会

\*第61回伊勢神宮式年遷宮奉賛金(平成元年～3年度)

\*第62回伊勢神宮式年遷宮奉賛金(平成19年～23年度)

約1300年前から20年に一度古式のままに内宮、外宮、別宮の緒殿を造り替え、御装束・神宝も新しく調え、大御神に新殿にお遷りを仰ぐ神宮式年遷宮。日本建築の原形を今に伝え、日本古来の文化を伝承する、極めて文化的意義が高く、平成25年10月に第62回を斎行。

写真提供／神宮司庁



**No.19 財団法人世界平和研究所**（現在は公益財団法人）

\*事業費募金(平成3年～毎年)

本財団は、安全保障問題を中心に、政治、経済、その他の分野における国際問題について調査研究を行い、総合的な施策を国の内外に向けて提言し、これ等の研究に関する国際交流を促進するとともに、人材の育成をはかり、世界の平和と繁栄の維持、強化に寄与する。

**【主な事業】**

1. 調査研究事業

①主題別研究、②研究会等の実施

2. 国際交流事業(国際会議・シンポジウムの開催)

①「日米韓トラック1.5」、②「東京－ソウル・フォーラム」、③「日中フォーラム」、④「日台フォーラム」

3. 知識、情報の普及・公開

①平和研講演会の開催、②図書、雑誌等の刊行、

4. 中曽根康弘賞表彰事業

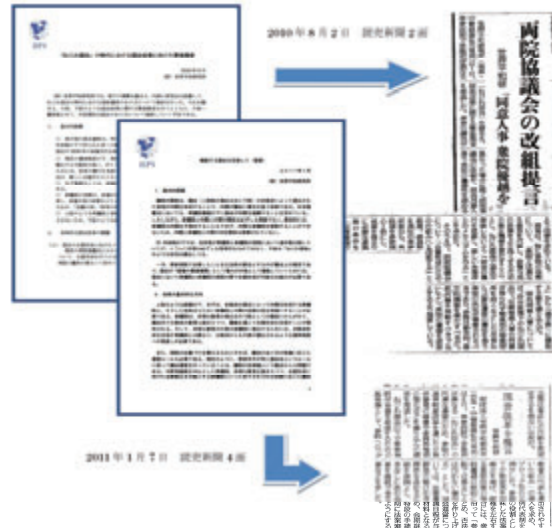
5. 研修事業

写真提供／世界平和研究所



日米同盟50周年記念シンポジウム『日米関係と日米同盟』

各種の政策提言活動が新聞に取り上げられています



研究所で行っている「政策提言」とその反響を示す新聞記事

## No.20 財団法人東京都ユース・ホステル協会

\*緑の募金(昭和63年度～毎年)

本協会は、東京都教育委員会所管の公益法人で、ユースホステル運動を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的に設立。

「緑」の募金運動は、昭和27年から始まり、市街、学園、工場社会福祉施設などの環境緑化と環境保全に成果をあげている。

写真提供／東京都ユース・ホステル協会



育林をしていた奥多摩「ユース仲間の山」での作業光景 「下草刈り」



育林をしていた奥多摩「ユース仲間の山」での作業光景 「間伐材などの片づけ」

## No.21 財団法人日本極地研究振興会

\*事業費募金(昭和48年度～毎年)

本協会は、極地の研究従事者に対する助成、各国極地研究機関との提携、情報交換、極地観測事業の広報、国民に対するPR活動等を行う。

### 【主な事業】

1. 極地研究に対する国際交流 (極地調査、国際会議の後援、研究者交流)
2. 極地観測事業の広報 (会誌等の発行、展覧会、後援会等の開催)
3. 極地研究者への研究助成

写真提供／日本極地研究振興会



### 【コウテイペンギン】

観測用アンテナの林立する南極昭和基地を訪れたコウテイペンギンの群れ。  
(撮影／第51次南極観測隊越冬隊 津和佑子)



### 【夏の昭和基地】

広く雪が融けた1月、3階建ての管理棟を中心に、黄色の通路棟で結ばれた基地主要部の建物や燃料タンク、野外調査用の雪上車など。東オングル島の北の海岸から南南東を望む。  
(撮影／第51次南極観測隊越冬隊 立本明弘)



## No.23 財団法人全国教誨師連盟

\*事業費募金(平成7年度～毎年)

本財団は、矯正施設における被収容者達に対して、温かい人間愛と強い信念とをもって罪への悔悟と更生への意欲を与える篤志宗教家の全国的組織である。

### 【主な事業】

1. 宗教教誨に関する調査、研究
2. 教誨師の研修
3. 教誨資料、機関誌の刊行
4. 関係官庁、宗教団体及びその他関係機関との連絡・調整

写真提供／全国教誨師連盟



全国教誨師大会



記録誌の発行

## No.24 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

\*富士教育訓練センター平成22年度賛助会費(平成9年度～毎年)

専門工事業界及び建設関連業界など22団体の賛同により設立。今後の建設業界のための新しいタイプの技術者、技能者の教育訓練を目的に、建設大学校静岡朝霧校跡地に施設を開校。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会

